

令和５年度国立研究開発法人森林研究・整備機構入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和６年２月２７日（火）森林総合研究所特別会議室	
委員	清水侯二（一般財団法人建築保全センター参事）、鈴木一美（元会計検査院第３局環境検査課長）、二井矢句子（弁護士）	
審議対象期間	令和５年１月１日～ 令和５年１２月３１日	
対象案件	総件数：１９件（抽出案件：９件）	
	工 事（抽出案件）	測量・建設コンサルタント（抽出案件）
一般競争入札	８件（５件）	１０件（３件）
不落随意契約	０件（０件）	１件（１件）
随意契約	０件（０件）	０件（０件）
（議事） （１）委員長選出 （２）令和５年度審議案件の説明及び審議 （３）まとめ		
議事	委員からの主な意見・質問	森林研究・整備機構の回答
(1)委員長選出	(委員の互選により清水委員を委員長に選出)	
(2)令和５年度審議案件の説明及び審議	森林総合研究所木の酒研究棟増築工事 ・本件の公告期間は１４日とあるが、一者応札対策、また、建設業法でも適正な見積期間の確保を求めていることなどから、出来るだけ公告期間を確保した方が良いのではないかと。	・工事発注に当たっては、入札公告期間を長く取って応札を検討する時間を多くすることで、応札者を増やす工夫が必要であると理解している。しかしながら、本件は年度の前半に設計の入札が不調に終わったことで工事の始期が遅れることとなったことから、工事を年度内に完成させるためやむを得ず公告期間を１４日としたところであるが、意見を踏まえて適正な公告期間の確保に努めたい。
	森林総合研究所関西支所受変電設備等改修工事 ・近畿農政局の資格参加者２者は、農林水産省競争参加資格のＢとかＣを持っている者か。	・この２業者は近畿農政局の資格のみを有している者である。

・関西支所では、近畿農政局の参加資格も入れると判断したのか。	・関西支所に設置されている入札審査委員会で検討して近畿農政局の参加資格を含めると決めている。
森林総合研究所 A-1 棟 高圧ガス設備改修工事 ・1回目の公告では工期が短いことで辞退しているが再度公告では工期を変更しただけか。 ・最初の公告で工期が短いとの理由で入札を辞退したがペナルティはないのか。	・工期だけ変更した。 ・合理的な理由がある場合はペナルティはない。また、入札前の辞退であったり入札中であっても入札書に辞退と記載すればペナルティはない。
森林総合研究所 A-2 棟 他耐震改修工事 監理業務 ・工事は4月10日に契約し、監理業務は6月1日からの契約だが2ヶ月くらい後になるが問題ないのか。 ・建物4棟の監理業務だが、複数の監理業務を一括で公告を行うことは一般的か。	・監理業務の仕様書に工事契約の落札額及び落札業者名を記載する必要があることから工事の入札が終わってからの公告になる。なお、現場の作業は資材の調達等で始まっていないことや監理業務の業者が決まるまでは監督職員が主導するため問題はない。 ・同じ敷地内の建設物であるため監理業務を一括で公告を行うことは一般的である。
東北育種場原種苗木促成温室整備工事 ・他の案件を見ると施工実績を条件に入れているものがある。なぜこの工事には入れなかったのか。 ・本来は入札公告の参加資格に入れるべきものだったのか。	・入札公告に施工実績の条件は記載されていないが入札説明書には実績調書についての記載があり、判断は可能と思われる。 ・今後は記載する。
林木育種センター事務所棟 他耐震診断業務 ・耐震診断を行ってその結果を受けてどう改修するのかが基本だと思うが、診断結果はどうだったのか。 ・診断部分と改修計画を分けることは可能か。	・診断結果は問題なかったため、耐震上の必要な改修を要することはなかった。 ・積算上は可能だが、予算執行上は、あえて2つに分けて実施することは難しいところがある。

	関西育種場四国増殖保存園 原種苗木促成温室建設工事 設計業務 ・設計業務は積算した予定価格に近い傾向があるのか。 ・不落随契で1回の見積りで落札しているが、これが落ちなかった場合はどうなるのか。	・国土交通省の設計の考え方では、延床面積及び建築物の類型で決まるため近い金額になってしまう。 ・不落となり随契に移行した場合、見積書の提出を依頼する。落ちなかった場合でも差額を見て先方の意思を確認しつつ何度か見積書の提出を求めることもあるが、かけ離れている場合は打ち切り仕様や予定価格の見直しを行い、再度公告する場合もある。
(3) まとめ	・審議の結果、抽出案件については改善点の指摘は特にない。	・本日御意見をいただいた内容を今後の業務に反映させるようにして参りたい。